

金環日食 みんな夢中

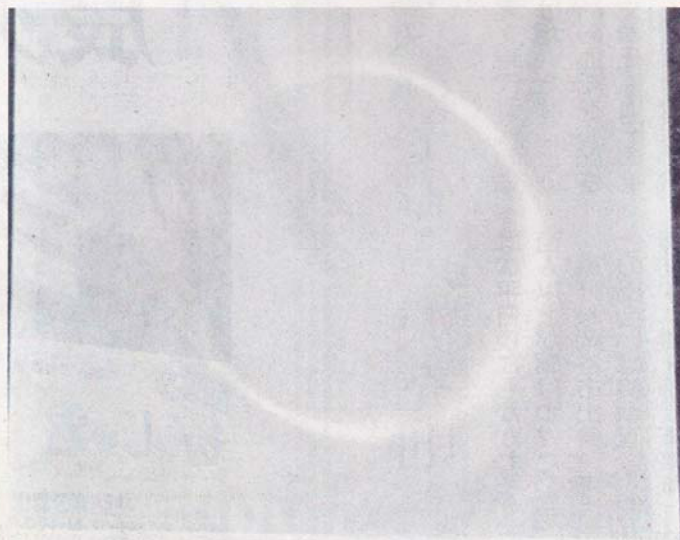
反射鏡で特別観察会

愛岐トンネル 親子ら250人歓声

春日井市と岐阜県多治見市間を結ぶ旧国鉄中央線廃線跡「愛岐トンネル群」では、反射鏡を使ってスクリーンに直径七十センチの太陽を映し出す特別観察会があ

見守った参加者たちは、手をたいて歓声を上げた。雲がかかってスクリーンから太陽が消えることもあったが、参加者から漏れる「誰か雲を吹き飛ばして」との声に応えるように、すくなくつきりとした姿が戻った。瀬戸市から訪れた竹岡妙子さん(七)は「曇りでも来ると決めていた。金環につながった時は、本当にすばらしかった」と喜んだ。

「愛岐トンネル群保存再生委員会」は、直径八センチの鏡を柱時計のゼンマイと連動させて太陽を自動追尾する装置を手作りした。段ボールに開けた穴から漏れる日食の太陽で「ア顔だった。イギトンネル」の文字をつくる仕掛けも考案するなど一カ月掛かりで準備してきた。



①スクリーンに映し出された太陽のリングにカメラを向ける来場者ら ②70センチ離れたトンネル内のスクリーンへ太陽光を投影し、刻々と日食の様子を伝えた手作りの自動追尾装置=いずれも春日井市の愛岐トンネル群で



早起きしてよかった

小牧の幼稚園一瞬に興奮

この地方では九百三十二年ぶりの観測だった二十一日朝の金環日食は、まずまずの天気に恵まれたこともあって、子どもから大人まで多くの注目を集めた。真つ暗なトンネルの中やモンキーパーク内、校庭、園庭などさまざまな場所で、世紀の天体ショーが主役となった。

(谷知佳、磯部旭弘、平井剛、金森篤史)

○…小牧市篠岡の桃 一片山佑凜ちゃん(六)花台小まわりの幼稚園では「皆論のよつこき